

番	季語「南天 千両 万両」		
1	実南天添えてぼた餅隣より MM	7	真っ直ぐに冬青空の航跡雲 SM
2	実南天ルビーのごとく朝日浴び MZ	8	足先で湯たんば探り喜寿過ぎる AT
3	八十路入る吾鼓舞するや実南天 MR	9	初御籤大吉札に両手添え MZ
4	赤き眼や月下に光る雪うさぎ AS	10	天高く笹葉灰舞うどんと焼き AS
5	実南天母の手活ける床飾り HY	11	願い事三社詣に託しきり KT
6	熊手留める鳥の運びし実南天 AT	12	
7	南天の実を食べる鳥は寒風に飛ぶ US	番号	季語「お好きな季節の言葉」
8	門松の風情取りなす実南天 KT	1	正座して巳年祝うや初小謡 SM
9	幼き日灰空くやしナンテンの実 KN	2	雪の朝全てを覆う神の慈悲 US
10	実南天鳥に食われて揺曳し SM	3	月冴ゆる長蛇の列や初詣 AS
11		4	球春や胸高鳴りてキャンプ地へ MZ
12		5	指月の瀬潮騒繋ぐ維新の炎 MR
番	季語「今の季節でお好きな言葉」	6	鱧の皮ネットに見つけし母の味 AT
1	エイヤツと速歩温みて冬芽見つく KN	7	初雪や白く染まる山々のいただき OK
2	柿の木に雪の帽子が村静か HY	8	天空に見え隠れする槍の鋒 KT
3	樹氷庭の静かさ冬の花 OK	9	猿回しガラガラ声で策まわす MM
4	オリオンよ国の行く末頼みたし MY	10	渋滞の車道と枯草の歩道 KN
5	雪舞の日雀は何処暖を取るか US	11	長き道足跡薄れ冬の影 HY
6	地上人に何を論すやオリオン座 MR	12	